

# 区社協だより ひらめ

社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会  
〒547-0043 大阪市平野区平野東2丁目1番30号  
平野区在宅サービスセンター(にここセンター)  
☎ 06-6795-2525  
FAX 06-6795-2929  
http://hirano.kusyakyou.or.jp/

◀ 2面  
元気なうちから  
始めよう  
介護予防

◀ 3面  
にここ  
デイサービス  
センター

◀ 4面  
包括支援  
センターから  
お知らせ

## 住民同士、住民と専門職

### 見守り活動を通じて心のネットワークづくり

平野区では、複数カ所で集合住宅の老朽化により、「建て替え」そして「引っ越し」という地域・生活の環境が一変する作業が行われています。特に高齢者にとっては、新しい環境への不安、体力的な問題など精神的・身体的な負担が大きくなります。地域役員は引っ越し前後の高齢者の変化に注意するなど各地域では共助意識が高まってきています。



見守り活動とはどのような活動でしょうか。見守りの形態は、ボランティアのライフスタイルに応じて様々です。

誰もがができる活動で、特別なことではありません。ふれあい型食事サービスを利用して見守りしている方の訪問時の見守りや、ふれあい喫茶などに参加された方への声かけ、また、公園を散歩されている方へのさりげない見守り、買

りや、ふれあい喫茶などに参加された方への声かけ、また、公園を散歩されている方へのさりげない見守り、買

## 「救急カプセル」導入に向けて

平野地域活動協議会 会長 内山秀次さん



この活動は、我が平野地区がモデルになり平野区役所・平野区社会福祉協議会とともに今年の春過ぎから何回も会議を重ねてきました。地域ネットワーク委員会をはじめ地域の福祉関係の各団体の中から検討グループを立

ち上げ、話し合いを始めて約半年が過ぎようとしています。地域住民を守る取り組みとして大きく3つの目的があります。

①災害や緊急の際に自分自身を守るための活動【自助】です。「もしも」のとき、自分で連絡先や持病のことなどを伝えられなくてもこの「救急カプセル」を設置しておくことで周りの人に伝えること

ができて速やかな対応ができます。②日常的な近所やお互いのつながりを作るための活動【地縁を大切にする】。近所・共助で孤立死や孤独死などを防ぐ地域の見守りネットワークをつくり



ます。③「救急カード」を入れたカプセルを設置している方の名簿を作成し、更に災害時などに活用する「要援護者名

要とすること)に気づけるようになることです。「引っ越で前の近所さんと離れた」「つれあいを亡くされた」「心細いだらうなあ」「最近いつも同じ服を着ているなあ」と相手の方の気持ちになつてみます。こうし

た状況把握は専門職だけでは充分ではなく、住民同士、住民と専門職の協力がとても必要になります。暮らしやすい安全で安心なまちづくりは、住民一人ひとりが問題意識を持ち、いろいろな意見やアイデアを持

ち寄ることで、地域への思いが結実して実現できます。見守り活動をとおし、地域のために頑張っている住民同士、また住民と専門職が思いを共有し、心のネットワークで結びつくことが望まれます。



## 「キッズサポーター」養成講座を開催

8月22日(木)当センターにおいて、夏休み企画キッズ向け学習会を開催し、22名の参加がありました。



サポーターの証であるオレンジリングを手にする子どもたち

開催にあたり、平野区内の全小学校、地域、平野区キャラバン・メイト連絡会、平野区医師会、関係機関からご協力をいただきました。子どもたちは「老いのこと」「記憶」「もの忘れ」「認知症」という言葉や意味を知ること、「あたたかい気持ち」「やさしい気持ち」をはぐくむ機会になりました。

認知症の人にやさしくしたいと思います。「家族や近所の人が認知症になったら手助けしたいです」などの感想をいただきました。ご参加、ありがとうございました。



講師の話に聞き入る子どもたち

## 多様な協働により地域を活性化



喜連西地域活動協議会 運営委員会

喜連西地域では、10月18日(金)に地域活動協議会の運営委員会を開催し、構成団体加入について話し合われました。社会福祉法人ユタカ福祉会、喜連地域包括支援センター、カリーノ保育園、大阪市立喜

連西小学校、大阪府立東住吉総合高等学校が地域活動協議会に参画されました。防災・防犯や福祉の観点から、地域活動協議会に未加入の自治会やNPO法人等にも今後どのように参画を促していくのかなど、話し合いが始まっています。

運営委員会では高齢者食事サービス委員長の「事業の担い手が不足している」との話に、社会福祉法人ユタカ福祉会から「できる範囲で協力したい」との申し出がありました。荒天により中止となった敬老会の代替行事について学校の連携・協力のもと検討が始まっています。

大きな公共を担う活力ある地域社会づくりをめざし、新たな地域運営の仕組み「地域活動協議会」による多様な協働の取り組みが注目されています。

**認知症サポーター養成講座** **要申込 無料**

定例開催 内容は全て同じ

第2回 平成25年11月21日(木)

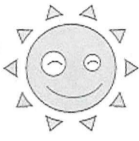
第3回 平成26年1月16日(木)

開催時間 全回とも午後1時30分~3時

開催場所 平野区在宅サービスセンター(にここセンター)

問い合わせ ☎ 6795-2525

### ふとん丸洗い乾燥サービス事業



#### 対象者

平野区内にお住まいで、寝具の衛生管理が困難な、65歳以上の『ひとり暮らし』もしくは『高齢者のみの世帯』の方のうち、要介護認定「要介護4または5」の方

利用枚数 1人あたり布団2枚まで  
自己負担額 掛布団 1枚 1,000円・敷布団 1枚 1,000円  
支払方法 ふとん回収時、業者に直接お支払いください  
申請期間 11月5日(火)～11月16日(土)  
実施期間 H26年1月14日(火)～1月31日(金)

#### 上記の期間において希望の日に回収(集配)するシステムになりました

☆申請受付後、後日通知書をお送りいたします。

申請(代行)者より実施業者に  
**ご希望の日時を、連絡してください。**  
調整により回収日を決定いたします。  
(布団は、1週間程度お預かりします)



申込み ①または②によりお申込みください。  
(所定の申請用紙に必要事項等を記入)  
①担当ケアマネジャーより代理申請  
②平野区社会福祉協議会(にこにこセンター)へ直接申込み

問い合わせ 地域活動担当 ☎6795-2525

(注意)\*TEL・FAX・郵送の受付はいたしません。  
\*介護保険証を提示していただく場合があります。

入場無料(雨天決行)

第6回 **ひらの子育て安心コーナー**

子育て相談(健康・栄養・育児)など

**子育てフェスタ**

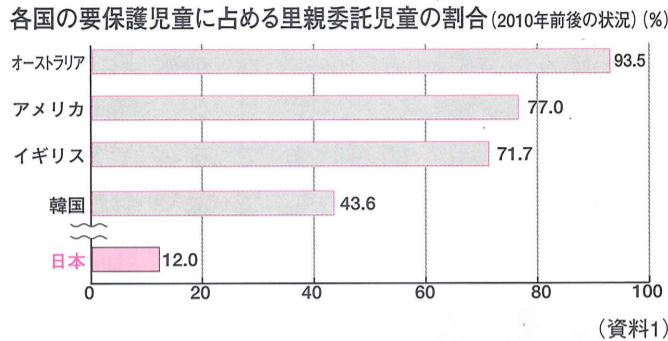
みんなで子育てひろがる笑顔

あそびのコーナー  
てづくりおもちゃ  
こっこあそび トンネル  
ボールプール など

日時 **平成25年11月9日(土)**  
**10時30分～14時**

場所 **コミュニティプラザ平野(平野区民センター)**

我が国では、児童福祉法に基づいて、保護者のいない児童、虐待児など、家庭環境上養護を必要とする児童などに対し、公的な責任として、社会的に養護を行っています。制度が異なるため、単純な比較はできませんが、欧米主要国で



#### 里親等委託率の推移

年度	児童養護施設		乳児院		里親等※1		合計	
	入所児童数(人)	割合(%)	入所児童数(人)	割合(%)	委託児童数(人)	割合(%)	児童数(人)	割合(%)
平成14年度末	28,903	84.7	2,689	7.9	2,517	7.4	34,109	100
平成18年度末	29,808	82.2	3,013	8.3	3,424	9.5	36,245	100
平成22年度末	29,114	79.9	2,963	8.1	4,373	12.0	36,450	100
平成23年度末	28,803	78.6	2,890	7.9	4,966	13.5	36,659	100

※1「里親等」は、平成21年度から制度化されたファミリーホーム(養育者の家庭で5～6人の児童を養育)を含む、ファミリーホームは、平成23年度末で157ヶ所、委託児童671人。多くは里親、里親委託児童からの移行。  
(資料2)

#### 次のような効果を期待し、社会的養護として里親委託を優先して検討。

- ①特定の大人との愛着関係の下で養育され、安心感の中で自己肯定感を育み、基本的信頼感を獲得できる
- ②適切な家庭生活を体験する中で、家族のありようを学び、将来、家庭生活を築く上でのモデルにできる
- ③家庭生活の中で人との適切な関係の取り方を学んだり、地域社会の中で社会性を養うとともに豊かな生活体験を通じて生活技術を獲得できる

#### 問い合わせ

大念仏寺社会福祉研究センター 担当 畠中  
〒547-0045 大阪市平野区平野上町1-7-3  
☎6791-5410(代) FAX6791-7774  
URL <http://www.dsw.or.jp/>



## 里親委託の推進と里親支援の充実

は概ね半数以上が里親委託であるのに対し、日本では施設養護への依存が高い現状にあります。(資料1、2 厚生労働省ホームページ)

「社会的養護」参照  
国は平成24年度から里親支援を行う児童養護施設及び乳児院に「里親支援専門相談員」を配置しました。大阪府では現在9名で、平野区では私が担当させていただいております。里親については、もっと知りたいた方はお気軽にご相談ください。

9月にはアジアで初めて、家庭養護の推進に向けて協働しよう！をメインテーマにIFCO2013(国際ファミリーホーム機構)大阪世界大会が開催されました。

#### 里親支援専門相談員の業務内容

- (1) 里親の新規開拓
- (2) 里親候補者の週末里親等の調整
- (3) 里親への研修
- (4) 里親委託の推進
- (5) 里親家庭への訪問及び電話相談
- (6) レスパイト・ケアの調整
- (7) 里親サロンの運営
- (8) 里親会の活動への参加勧奨及び活動支援
- (9) アフターケアとしての相談

利用者さんの声  
数下がはきやすくなった  
背筋が伸びた  
身体が軽くなった

利用できる方は、65歳以上で介護保険の要支援・要介護の認定を受けていない方です。

ぜひ元気なうちから楽しく介護予防に取り組んでください。

問い合わせ 介護予防担当(松本) ☎6795-2525

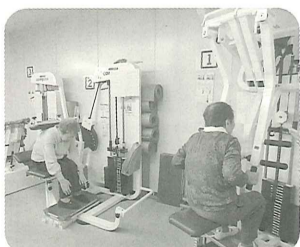
## 介護予防 元気なうちからはじめよう

年齢を重ねても自分らしく、いきいきと生活が送れるよう、生活機能の向上を目的として実施しています。

健康運動士・看護師・介護福祉士・歯科医師・管理栄養士などの専門職が3つの事業をお手伝いします。(費用は、無料です)



ストレッチで体をほぐします。



マシンを使い筋力をつけます。

#### 1、介護予防教室(複合型)

介護になりにくい身体作りのサポートとして運動・食事・お口のケアなど介護予防全般について学びます。

#### 2、運動器の機能向上教室

立ち座りに必要な筋力をつけ、バランスを保ち、転倒を予防するための運動をおこないます。

#### 3、なにわ元気塾 ～にこにこ教室～

地域の会館や高齢者の施設などで 月1回体操やゲームで身体を動かしたり、歌や音楽などのレクリエーションや手工芸を通じて地域の仲間と交流し、心と身体の元気を高めます。

# ボランティアビューロー

## 平野区 ボランティア活動ガイドブック

### 《ガイドブック発行にあたって》



平成25年4月発行

ボランティア活動に興味があるけれど、どんな人達がどんな活動をしているのかわからない、といった相談が多くあります。

このガイドブックは、このような方々へボランティア活動を紹介します。自分にもできることで社会参加を始めるきっかけづくりをしていただければという思いで発行しました。

すでに活動を始めている方も、お互いの様々な活動を知ること、さらに次のステップへのヒントを見つけたり、仲間が増えたり、理解が広がったりと大きく活動展開されることを期待しています。

## 「救急カプセル広め隊」活躍中♪

災害や緊急時に支援が必要な方を守る「救急カプセル」事業の取り組みを支えるボランティア「救急カプセル広め隊」の活動が始まっています。活動の内容は主にペットボトルの収集、カプセル作りのメッセージカード作りなど、各地域での安心安全なまちづくりの応援団として大活躍です。

トボトルの回収が容易に行うことができる。  
③ 500 ml のペットボトルの下から12 cm のところで切ることがカプセルとして最適である。などです。



## 子どもが大好き

### 第1回 地域子育て支援者スキルアップ講座

第2回目講座の開催日は  
11月26日(火)です。

家族や施設、地域の子育てサロンなどで活動している方を対象にスキルアップ講座を開催しました。活動に役立つ知識を得るだけでなく、活動者同士の交流や情報交換の場となりました。

第2回目講座は、常磐会短期大学の田村みどり氏を講師にお招きします。



人気の手あそびの紹介

子どもが大好き、子どもと関わりのある活動をしたい、子育て支援活動に関心はあるが参加するきっかけが作れない...など考えている方には子育て保育ボランティア養成講座(次回は平成25年12月に開催する予定)をお勧めします。



### おもちゃ図書館「にこっと」は...

ハンディを持つ子どもや、集団の中で遊ぶのが苦手な子どもたちが、安心してのびのびと自由に遊べる場所です。また保護者のみなさんにとっても、情報交換をしたり、お友達ができたり、ひと息つけるところです。

毎年恒例のミニ夏祭りを9月14日(土)に開催し、子どもや保護者、ボランティアを含め約50名の参加者でにぎわい、大盛況に終わりました。かき氷・たません・わた菓子と盛りだくさんの屋台に加え、手作りコーナーでは紙ひこうきを作成したり、大人も子どももおなかいっぱい笑顔いっぱい(^^)のひとときでした。

おなかいっぱい♪  
笑顔いっぱい♪  
「にこっと」夏祭り

開催日時 毎月第2・4土曜日 10時30分～14時  
場所 平野区在宅サービスセンター(にこにこセンター)3階会議室  
問い合わせ 平野区ボランティアビューロー(☎6795-2200)

## にこにこデイサービスセンター

### デイサービスって?

にこにこデイサービスセンターでは、在宅介護を必要とされる高齢者のみなさまが、住みなれた地域で安心して生活できるよう支援するため、さまざまなサービスを提供しています。



流しそぼめん

平成18年度より『小規模デイサービス』として新たにスタートし、より一層ゆったりとくつろげる「アットホームな雰囲気」となっております。みなさま「ご自身のサイクル」でお過ごしいただきたいため、わたしたちは「オーダーメイドケア」の実現に向けて、「お一人おひとりの生活、想いを大切にしたい」と考えています。

ぜひ、一度お越しくださいませ。  
スタッフ一同心よりお待ちしております。

#### 利用者さんの声

- ・元気になってきた
- ・ここにきたら楽しい
- ・ご飯がおいしい
- ・娘が安心する
- ・この年齢で“友達”ができた



敬老会

毎日が楽しい人気のレクリエーション!  
七夕まつり 季節のイベントが 運動会  
クリスマス会 節分まつり

もりだくさん!

問い合わせ デイサービス担当(小谷) ☎6795-2525

# あなたによりそう・手と手がつながる 平野区地域包括支援センター



**地域で見守りの輪を広げる活動**

平成25年7月2日、地域住民の方よりご要望をいただき、平野南地域で認知症サポーター養成講座を開催しました。この講座は、認知症について正しく理解して

いただき、地域で認知症の方やその家族を支える応援者のひとりになっていただくことを目的に開催しています。当日は、55名の参加がありました。熱心に聴講され、「参加してよかった」「これからの自分のためではなく、周りのことも考えて生活していきたい」「自分のできることを考えていきたい」などの意見がありました。今後、認知症サポーターの輪を広げ、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるようにしたいと考えています。

**家族介護支援事業**  
～楽しく笑ってリフレッシュ～

今年、広崎真弓先生(関西大学人間健康学部助教)に「歌って笑って認知症予防」についてご講演いただきます。また、歌手の香月麻里氏、声優の桜木由氏にもご出演いただきます。申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

**入場無料**

先着200名入場無料

**ご案内** 平成25年11月12日(火) 14時～16時

**日時** 平野区民ホール(消防署隣) 平野南1-2-7

**場所** 平野区地域包括支援センター 6795-1666

**問い合わせ**

**「赤い羽根共同募金」にご協力を!**  
～ささえあう たすけあう そんな心を伝えます～

毎年10月1日～12月31日までの期間に「赤い羽根共同募金」を全国で展開しています。

皆様の善意は、大阪府共同募金会を通じて、地域福祉を推進している団体や活動に配分されます。また、災害への支援にも活用されています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

当区社協においても、「赤い羽根募金箱」と「共同募金協力型自動販売機」を設置しております。いつでもご利用ください!

**賛助会員を募集中!**

平野区社会福祉協議会は、誰もが「安心して暮らせる福祉のまちづくり」を大きな目的として、福祉事業を推進しています。その活動は、各種補助金や共同募金配分金の他、寄付金や会費によって成り立っています。活動にご賛同いただき、ご協力をいただきますようお願いいたします!!

年会費	
個人会員	1,000円
法人・団体会員	10,000円
※ただし、口数に制限はありません。	

現在個人.....177人  
法人・団体.....68団体  
ご登録いただいています。

直接窓口へお越しいただくか、郵便局の下記口座へお振込みください。  
[加入者名] 社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会  
[口座番号] 00970-8-139180

**「どこへ行くの」徘徊高齢者への近隣住民による見守り・声かけ活動**

認知症高齢者のAさん。夫と二人暮らし。介護保険サービスを活用しながら自宅で生活されています。しかし、2年程前から「徘徊」が始まり、夫も心配していましたが、「自宅で介護したい」という願いがありました。そこで、夫、介護支援専門員、地域関係者、地域包括支援センターで話し合いを行いました。

地域役員から「Aさんはふれあい員さん(ボランティア)もよく知っているの、同じ町会のふれあい員さんにも伝えて、徘徊して遠くに行かないようにできないものか?」と意見が出ました。

数日後、地域役員と、ふれあい員数人と地域包括支援センターで見守りに関する意見交換会を行いました。Aさんの徘徊の目的は、他区にある実家に帰るといことが確認できました。

一方で、ふれあい員は、Aさんと会った時にさりげなく「どこに行くの?」と声をかけ、話をしていると、Aさんが徘徊している目的を忘れることがあるため、自宅に帰る道を伝えたり、一緒に帰るといことをすでに実践されています。ふれあい員は、今後も見守り声かけ活動を続けると共に、自宅訪問もしています。

ようとして提案し、月に1回2名で訪問を開始しました。訪問した時、Aさんにはこやかに迎え入れてくださり、安心してきています。

認知症高齢者の自宅生活の継続を見極めることは非常に難しいものです。家族やふれあい員など地域の負担も考慮しながら、可能な限り本人・家族が思い求める生活の場で過ごすことができるように、支援していきたいと思っています。

**共同募金の配分金は、「地域福祉の大きな力!」**

毎年実施されます「赤い羽根共同募金」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。当区社協も、寄付金より下記のとおり配分金を活用し、各種事業を行なっています。

平成24年度 共同募金配分金による事業(報告)	
収入	金額
地域配分金	5,243,668
その他特別配分	1,072,065
合計	6,315,733

収入	金額
地区・校下社協助成金	2,814,406
区社協事業「災害ボランティアセンター整備事業」「送迎サービス事業」他9事業	1,858,228
「青少年健全育成及び非行防止活動事業」「手話講習会」他13事業	780,000
敬老月間事業(金婚夫婦などお祝品の贈呈)	863,099
合計	6,315,733

平成25年度 共同募金配分金による事業(予定)	
収入	金額
地域配分金	4,649,424
その他特別配分	207,284
合計	4,856,708

収入	金額
地区・校下社協助成金	2,900,000
区社協事業「布団丸洗い乾燥サービス事業」「送迎サービス事業」「子育てフェスタ」他2事業	535,000
「青少年健全育成及び非行防止活動事業」「手話講習会」他13事業	780,000
敬老月間事業(金婚夫婦などお祝品の贈呈)一部	641,708
合計	4,856,708

※ 配分事業内容などは、赤い羽根データベース「はねっと」で公表されています。  
<http://www.akaihane.or.jp/hanett/>

**善意銀行への「ご寄付」ありがとうございます。**

平成25年7月から9月までの間に、次の方々より平野区社協善意銀行への預託をいただきました。

皆様のお気持ちに感謝いたしますとともに、区内の福祉充実のために有効に活用させていただきます。

◆善意銀行への預託◆  
《金銭預託》匿名(1件)  
《物品預託》(株)小林新聞舗 車いす2台  
ウノスプランニング(株) お菓子(順不同、敬称略)  
※善意銀行への預託は、税法上(所得税・市民税)の寄付金控除の対象になります。